

小樽市教育研究所報

環流



第197号 令和8年6月30日

<目 次>

巻頭言	P1
教育研究所の活動について	P2
調査研究活動事業の研究指定校・団体	P4
教育研究所情報	
研究図書について	P5
初任者紹介	P6



「子どもたちのために」

小樽市教育研究所副所長 谷 口 剛
(小樽市教育委員会学校教育支援室長)

教育公務員特例法21条には、「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」と記されています。

将来の予測が困難な、VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代となり、少子化、人口減少、高齢化といった社会の現状において、教育に携わる私たちは、持続可能な社会の創り手を育成していくことが求められており、これからの時代においても変わることのない教育の『不易』と社会や時代の『流行』を学び続ける必要があります。

先日、32年前の教育実習の最終日に担当の先生からいただいた手紙に、「教育という仕事は、自分も成長せざるを得ないし、とてもやりがいのある素晴らしい仕事です。」と書かれている文を見つけました。

子どもたちに対して「勉強しなさい。」と言っている私たち自身が、学んでいる背中を見せ続けることが一番大切なのではないのでしょうか。経験を積み重ね、年齢が幾つになっても、教員になろうと決意した日、学校に赴任した日、初めて子どもたちと出会った日の気持ちを忘れずに「子どもたちのために」学び続けたいものです。

小樽市教育研究所では、研修指導の充実を図るため、先生方が悩みなどを、気軽に相談することができる来所による指導助言を実施するとともに、最新の教育情報を得るため、新刊図書を中心に購入して貸出しを行っております。ぜひ、1人でも多くの皆さんに活用していただき、本市の子どもたちの確かな学びと心身の健やかな成長を目指す教育が推進されますことを願っております。



令和8年度 小樽市教育研究所の活動について

今年度の小樽市教育研究所の活動の概要について紹介いたします。
教育研究所の業務内容は、

- 教職員研修に係ること
- 教育活動に係ること
- 教育相談に係ること の3つに大きく分けられています。

研究を推進していただける皆さんを紹介します！

昨年度に引き続いて委嘱された研究員の皆さん（4名）

手宮中央小学校 教諭 村田あゆみ（3年目） 研究員3年目、手宮中央小学校 村田あゆみです。研究主題にある『「子どもを主語」にした授業づくり』について所員の皆さんと考える中で、これまでの授業スタイルからの大きな転換を求められていると感じています。今年度も子どもたちのために所員の皆さんと実践に基づきながら、研究を進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。	潮見台小学校 教諭 柴田 まみ（3年目） 昨年度は、研究主題「未来を生き抜くための思考力と創造性を育む学習指導の在り方」を追究するため、子どもを主語にした授業づくりを進めてきました。今年度は、「選択を可能にする学習」にするための手立てを工夫するとともに、「振り返りの視点」を具体的に示し、児童が自らの学びを言語化し、次の学習につなげられるような取組を進めていきたいと考えています。	山の手小学校 教諭 鎌田 委美（2年目） 研究員として2年目を迎えるにあたり、身の引き締まる思いです。これまでの経験を活かしつつ、さらなる研究に励みたいと考えております。すべては目の前の子どもたちの「わかった！」「できた！」という笑顔と成長のために、子どもたちの可能性を引き出す魅力ある授業づくりに全力で取り組みます。どうぞよろしくお願い致します。
--	--	--

今年度新しく委嘱された研究員の皆さん（2名）

長橋中学校 教諭 菊地 洋平（2年目） 今年度も研究員を務めさせていただきます。昨年度、第14次研究の初年度として「子どもを主語にした授業づくり」について、検証授業を通して単元計画や教師の役割など検討を重ねて参りました。今年度も小樽市内の子どもたちの学びの充実のために、実践と理論を往還しながら授業改善に努めます。今年度もよろしくお願いいたします。	松ヶ枝中学校 教諭 本間 啓太（1年目） この度、新たに研究員の一人となりました、本間啓太と申します。歴代の研究員の一覧を拝見すると、尊敬している先輩方の名前がずらりと並んでおり、身が引き締まります。本活動を自身の授業改善にも活かし、さらに研究の充実に向けて、自らの経験も微力ながらお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。	稲穂小学校 教諭 高松 嵐（1年目） 小樽市教育研究所の研究員として、「子どもを主語とした授業づくり」を追究し、一人一人が主体的に学び、自ら考えを深めていくことができる授業の在り方について研究していきたいと考えています。また、本市の学習に関わる課題を研究員の皆様と共有し、多様な視点から解決策を模索しながら、実践を通して得られた成果を学校現場へ還元できるよう努めていきます。
--	--	---

教育研究の推進

第14次研究2年次目にあたり、研究主題「未来を生き抜くための思考力と創造性を育む学習指導の在り方」を追究するため、子どもを主語にした授業づくりを進めていきたいと考えます。そのために、一人一人にアプローチする指導として「指導の個別化」と選択を可能にする学習として「学習の個性化」に取り組んでいきたいと考えております。

◎研修講座の開催（予定）

- ・特別研修講座として、
 - 8月27日 「指導力向上特別研修講座Ⅲ（理科）」（会場：稲穂小学校）
 - 11月27日 「指導力向上特別研修講座Ⅰ（国語）」（会場：山の手小学校）
 - 2学期予定 「指導力向上特別研修講座Ⅱ（数学）」（会場：朝里中学校）
- ※「指導力向上研修講座」「生徒指導・特別支援教育等」「学校安全等」，他にも多くの研修会を予定しております。
- ・第14次研究（2年次）全市公開検証授業は，11～12月頃に実施を予定しております。

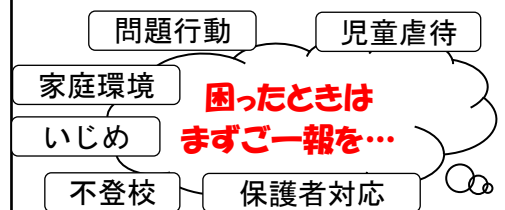
○社会科副読本，歴史教材，理科教材について

今年度，「わたしたちの小樽」は3年生に8・9年用を配布済です。また，「小樽の歴史」についても5年生に配布済です。なお，「おたるの自然」冊子版は学校備え付けです。デジタル版は端末で見ることができます。ご活用ください。

●教育相談活動の実施

- ・小中学生と保護者を対象に相談活動（面接・電話・メール）を行い，関係機関と連携を図りながら相談者に寄り添った対応に努めています。
- ・来所相談・電話相談：22-4812
（月曜日～金曜日午前8時50分～午後5時20分）
- ・教育相談メール：kyoiku-sodan@city.otaru.lg.jp
- ・スクールソーシャルワーカー（SSW）が学校，家庭，関係機関と連携・協力し，子どもの置かれている環境の改善等に向けた活動を行います。

SSWの活動日は，
月・水・金曜日 11:15～17:00
火・木曜日 9:15～15:00 です。



教育研究所職員

所 長	野 呂 武 志	（教育部長）
副所長	谷 口 剛	（学校教育支援室長）
主 幹	濱 谷 武 司	（学校教育支援室指導G主幹）
主 査	野 里 岳 司	（学校教育支援室指導G主査）
主 査	深 田 友 和	（教育総務課総務係長）
所 員	山 内 理恵子	（教育総務課総務係）
所 員	黒 田 麻 衣	（教育総務課総務係）
所 員	仲 倉 優	
所 員	木 村 俊 夫	
所 員	藤 崎 淳	（スクールソーシャルワーカー）



令和8年度 調査研究活動事業 研究校・研究団体を紹介します

小樽市教育研究所では、今年度14校6団体を研究校・研究団体に指定し、各学校・団体の研究活動の奨励・推進の支援に取り組みます。令和9年1月（予定）に研修発表会を開催し、研究内容の交流を行います。年度末には研究集録を作成し、取組内容や成果、課題等をまとめます。

【研究校】

学 校 名	指 定	学 校 の 研 究 主 題
高 島 小 学 校	推進校	主体的な学びの実現に向けて ～よく聞き、よく考え、伝え合う力、やり抜く力の育成～
手宮中央小学校	推進校	主体的な学びの実現に向けて ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して～
稲穂小学校	推進校	主体的・協働的に学びだす稲穂の子ども ～伴走する教師の関わり方を工夫して～
花園小学校	推進校	主体的に考え、学び合う児童の育成を目指して ～「読み解く力」を育てる指導の工夫～
山の手小学校	推進校	学びをつなぎ、広げる ～自己調整力の向上を通して～
潮見台小学校	推進校	主体的に考え、協働的に学び合う子どもの育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して～
桜 小 学 校	推進校	学び・成長を止めない子どもの育成 ～特別支援教育を軸とした授業づくりを通して～
望洋台小学校	推進校	自ら学び ともに高め合う 子どもの育成 ～子どもを主語とした授業作りを目指して～
銭函小学校	推進校	基礎を確かにし、安心して学び合う子どもの育成 ～「わかった」「できた」が積み重なる授業づくりを通して～
西陵中学校	推進校	見方・考え方を働かせ、主体的に探究する生徒の育成
菁園中学校	推進校	主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～見方・考え方を働かせ、探究する学習活動を通して～
奥沢小学校	交流校	主体的に学び、確かな力を実感できる子どもの育成 ～安心して学び合える授業づくりを通して～
北陵中学校	交流校	「主体的・対話的で深い学び」を育む ～UDの視点から、みんなが「わかる」を実感し、「身につける」指導～
朝里中学校	交流校	自律した生徒を育てるための授業づくり ～教師の手立てに着目して～

【研究団体】

研 究 団 体 名	指 定	研 究 団 体 の 研 究 主 題
小樽市算数数学教育会	推進団体	未来社会を切り拓く力を育む算数・数学教育の探究 ～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～
小樽市社会科教育研究会	交流団体	郷土に夢と誇りをもち 未来を拓く子どもの育成 ～地域とのかかわりの中で、自らの課題を追究し主体的・対話的に学びつづける子どもを求めて～
小樽市複式教育研究会	交流団体	主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましく ふるさとを切り拓く子どもの育成 ～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に持続可能な未来を切り拓く力を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～
後志道德教育研究会小樽支部	交流団体	豊かな関わりを通して、よりよく生きる児童・生徒の育成 ～考え・議論する道德科の授業を通して～
小樽市学校体育研究会	交流団体	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育活動の創造
小樽英語教育研究会	交流団体	情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現し、伝え合う児童生徒の育成 ～ICTの効果的な活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体化～

教育研究所情報①

この1冊で 新しい世界が広がります！！

当研究所には、教育に係る蔵書が数多くそろっており、今日的な教育の流れに即した新刊も随時購入しております。これまでも、多くの教職員の方々に借りていただいておりますが、それぞれの課題や関心に応じたものがきっとあると思いますのでお気軽にお立ち寄りください。

また、教育研究所では、年に数回新規購入図書についてチラシ等により各学校に案内をしております。参考にいただければと思います。

◆ご希望の図書が見つかりましたら、電話またはメールにて教育研究所に①～③の事柄をご連絡ください。(電話・メール)

①学校名と氏名 ②図書名 ③希望貸出し期間

◆図書をメール便にて送付します。

◆返却期日までに教育研究所にお戻しください。
(返却は3冊程度であればメール便でも可能)

◆教育研究所にて、図書を自由にご覧いただき、希望の図書が見つかりましたら所員にお知らせください。

◆貸出し簿に必要事項を記入していただきます。

*貸出し冊数に制限はありません。

「指導と評価」(季刊誌となりました。)・
「初等教育資料」は、定期購読しています。

◆返却期限までに教育研究所にご返却ください。

*貸出し期間は2週間です。延長を希望される場合は連絡が必要です。



昨年度、新規に73冊の図書を購入しました。多くの教職員の皆様にご利用いただきました。ありがとうございました。

貸し出し数

ベスト3

- 1 子どもを伸ばす言葉 実は否定している言葉
- 2 教育動向 2026
- 2 シン読解力
- 3 いい授業の条件
- 3 その自由進度学習 間違っていないですか
- 3 非常識な授業づくり

～お薦めの本～

谷口学校教育支援室長よりお薦めの本を紹介します。
「若手教師にとって大切なこと、教えます」
西川 純 著
サブタイトルには、「今までの講義・先輩のアドバイス・研修とは真逆なことを伝えます。」と書かれています。

<図書についてのお申し込み・お問い合わせ→小樽市教育研究所>

Tel 0134-32-4111 (内線 7222)

E-mail kyoiku-kenkyusyo@city.otaru.lg.jp

<令和8年度 初任者紹介・その1> 今年度新たに市内に採用された7名を紹介します。今回紹介できなかった方(7名)は、次号で紹介いたします。



小樽市立稲穂小学校 教諭 佐藤 幸生

新採用として小樽市立稲穂小学校に着任いたしました。担任している学級は明るく元気な子どもたちばかりで、私自身も日々たくさんの元気をもらっています。また、教員としても子どもたちからいろいろ教えてもらいながら、支えられて毎日を過ごしています。今後も子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員や保護者、地域の皆様と連携しながら努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



小樽市立山の手小学校 教諭 阪 妃 莉

今年度より新採用として小樽市立山の手小学校に着任し、4年生の担任をしております。慌ただしい毎日ですが、子どもたちの笑顔に元気をもらいながら、あっという間に2か月が経ちました。先生方の温かなご指導に支えられ、充実した毎日を過ごしております。子どもたちが毎日楽しく過ごすことのできる学級づくりを目指し、一人一人の成長を支えられる教員となれるよう努めてまいります。これからもよろしくお願いいたします。



小樽市立望洋台小学校 教諭 戸内 彩乃

この度キャリアリターンにて教職に復帰し、今年は6年生の担任をしています。最初は不安もありましたが、子どもたちの明るい笑顔や素直な言葉に支えられ、毎日楽しく過ごしています。子どもたちと過ごす時間はとても充実しており、私自身も多くのことを学ばせてもらっています。子どもたちが安心して挑戦できる学級づくりを目指し、一日一日を丁寧に積み重ねていきたいです。



小樽市立長橋中学校 教諭 井戸 優希

教員生活が2か月経ち、日々変化する生徒たちの弾ける笑顔と成長の早さに、毎日ワクワクしています。中2担任、小学校加配、保健体育、部活動と、多彩な現場で挑戦できる環境が楽しく刺激的です。これからは、この充実感を原動力に、一人ひとりの可能性をどこまでも引き出す教員となります。私自身も共に学び、輝く未来へ向かって情熱的に突き進みます。



小樽市立長橋中学校 教諭 工藤 彩桜

教員となってから約2ヶ月が経ち、教員としての学校生活には、まだ慣れないことが多く、緊張する日々が続いています。

周りの先生方や生徒の笑顔に支えられ、教員としての学びが日々深まっており、挑戦する気持ちを大切にして、楽しく働くことができます。いつもありがとうございます。

やりがいと笑顔あふれる学校で教員として働くことができることに感謝して、頑張って参ります。



小樽市立北陵中学校 教諭 中川 由平

小樽市立北陵中学校教諭の中川由平です。自分が教職に就きたいと思った理由の一つとして、北海道の未来を担う子供たちの成長を支えていきたいという気持ちがあります。その気持ちは今も変わっていませんが、子どもたちを支えるために必要なことが多くあると改めて実感しています。臨時採用期間の2年を経て、今回本採用となりましたが、初心を忘れずに様々なことに挑戦し、自分の知見を広めていけるよう頑張っていきます。



小樽市立潮見台中学校 養護教諭 久我 ノリカ

今年度より新規採用として小樽市立潮見台中学校に着任しました、久我ノリカです。優しく、元気で明るい生徒たちに毎日元気をもらいながら楽しく過ごしています。保健室では怪我や体調不良だけでなく、心が少し疲れた時も安心してきてもらえる場所にしていきます。生徒が健康に元気に過ごせるよう心に寄り添いながらサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。